

南山大学広報誌

NANZAN

BULLETIN

vol.221
2022. 9. 30

特集

南山大学

「人間の尊厳賞」



NANZAN UNIVERSITY

南山大学「人間の尊厳賞」を創設

第1回は青木陽子氏が受賞

南山大学の理念を実現する賞の創設

南山大学は2021年に迎えた創立75周年の記念事業の一つとして、南山大学「人間の尊厳賞」を創設しました。この賞は、自らの尊厳と他者の尊厳を認め、一人ひとりをかけがえのない存在として、本学の教育モットーである「人間の尊厳のために」の実現にむけて多大な貢献をしている個人・組織から、毎年1名または1組織を表彰するものです。受賞者決定は、学内選考を経て、学長および学外有識者からなる選考委員会にて最終選考を行います。

第1回の受賞者を決定

選考の結果、栄えある第1回受賞者は、アジア視覚障害者教育協会会長 青木陽子氏に決定しました。幼くして全盲となられた青木氏は、南山大学文学部教育学科を卒業後米国に留学。留学中に障害者が留学の機会に恵まれないことに気づき、自らが中国に渡り中国語を習得した後、天津市において視覚障害者を対象にした日本語学校を設立しました。長年にわたる日本語教育の成果として、開校以来500名を超える卒業生を送り出しました。卒業生は日本語学習とともに幅広い知識を習得し、各分野で活躍しています。こうした障害者の自立と国際交流の深

化への貢献および人々を勇気づける青木氏の活動は、本賞の求める「普遍性」「多様性」「困難性」「独自性」「継続性」のすべてを实践するものと認められました。

広報の展開

この賞の創設を広く社会に周知するため、様々な媒体での広報を展開しました。中日新聞に掲載した一面広告では、本学経済学部卒業生であり、現在はフリーアナウンサーとして北海道を中心に活躍されている佐藤麻美氏を招いて、キサラ学長との対談を行いました。この広告は、佐藤氏の地元メディアである北海道新聞にも掲載しました。

青木氏の受賞決定は、記者会見を開き、キサラ学長より発表しました。会見の様子は、各新聞で取り上げられました。また、雑誌PRESIDENTでは、青木氏の受賞と前述の学長対談をあわせて掲載したほか、日本経済新聞での告知広告など、多様なメディアで広報しました。

創立記念日に表彰式、記念講演会を挙

第1回表彰式・記念講演会は、南山大学の創立記念日である2022年5月26日に、南山大学フラッテンホールにて開催しました。



記念講演会を行う青木陽子氏



新聞一面広告



表彰式の様子



松岳同窓会長から目録を授与



キサラ学長から表彰盾を授与

YouTubeでのライブ配信も行われ、一般の方々にも広く視聴いただきました。

表彰式では、学長式辞の後、キサラ学長より青木氏に表彰盾が授与されました。続いて、本賞の後援である南山大学同窓会 松岳大樹会長より青木氏に副賞賞金の目録が手渡されました。

表彰式に続いて、青木氏にご講演いただきました。講演テーマは「教育こそが未来を拓く～人間の尊厳を守るために～」。要旨を以下に記します。

講演要旨

まず初めに、私が「人間の尊厳」をどのように理解しているかをお話させていただきます。「人間性は型にはめられて予定通りに動く機械ではなく、内なる活力に従ってあらゆる方向に伸びようとする樹木である」という、英国の哲学者ジョン・スチュアート・ミルの言葉があります。型にはめられる一女性は結婚して子どもを生み育てるべきだとか、障害者は早く手に職をつけて自立するべきだとか、社会は様々な制約を私たちに課します。しかし人は皆、夢や希望、理想といった「内なる活力」を持っていて、それはあらゆる方向に伸びようとする。そのような活力に従って生きようとする権利こそが、人間の尊厳だと思っております。

人は生まれる環境を選ぶことはできませんが、生きる方法を変えることはできます。そのために必要なのが「教育」です。教育こそが未来を拓くのです。

30年ほど前、障害者が高等教育を受けるのは非常に困難なことでしたが、南山大学が私を受け入れ、素晴らしい教育を提供してくれました。それが米国留学や、現在中国で行っている教育支援に繋がったの

ですから、まさに教育が私の未来を切り拓いてくれたということです。

あの頃の中国は非常にエネルギーで魅力的な国である一方で、「障害者に学問はいらぬし、夢を持たない方がいい。夢があるとかが辛くなる。」とも言われていました。私にとっては大変ショッキングな言葉で、「教育を通して社会を変えていかなくてはいけない」と決意し、天津視覚障害者日本語訓練学校を設立したのです。障害の有無や年齢、職業に関係なく、延べ522名の学生を無料で受け入れてきました。

障害者と健常者が一緒に学ぶ環境を整え、留学制度を用意し、按摩鍼灸以外の職種開拓に力を入れました。点字や拡大文字による日本語能力試験の実施、日本語学習指導者の養成、日本文化の交流事業にも取り組みました。うれしいことに、徐々に世間の目も変わり、「例え障害があっても、教育があれば自分の能力を十二分に発揮することができるんだ」という考えが浸透してきたと肌で感じています。

最後に、みなさんへの提言が三つあります。まず一つ、思考を止めるな。自分の専門分野だけでなく様々な分野を学際的な思考で学び、複眼思考を養ってください。二つ目、歴史の生き証人たれ。コロナ禍の中で感じたことを一つひとつ記録に残してください。権力者たちが不都合な出来事を隠すのを許してはいけません。そして三つ目、美しい日本語を残してください。日本語の美しい響きを大切にしてほしいと心から願っています。

日中国交正常化50年を迎える今年、平和の尊さに想いを馳せる一年にできればと思います。最後に南山大学G棟に刻まれている言葉で講演を締めくくります。「PAX IN ORBE TERRARUM(全世界に平和あれ)」



教え子楊氏の演奏

講演の最後には、青木氏の教え子である楊雪元氏より、ギター弾き語りの「オーソレ・ミオ」歌唱と横笛の演奏が披露され、講演に花を添えました。

青木氏の講演を受けて、日本語教育を専攻する人文学部日本文学学科3年の北村実咲さんから「学生の言語学習のモチベーションの持続と向上のために、どのようなサポートをしていますか?」という質問があり、青木氏は「日本語を通じて、何か良い経験をしてもらいます。例えば爆買いツアーに日本語通訳として参加し、買い物の手助けをします。そうすると、人々から大きな賞賛を受けます。それが本人の大きな希望になり、モチベーションを高めます。楽しいと思う経験をしてもらうのが一番ではないかと思います。」と回答しました。



卒業後も日本語教育に携わりたいと希望する北村さん

取材後記

表彰式の舞台上では、青木さんのご要望で、白杖を使わずに介助者のサポートのみで移動が行われました。初めての場所でも臆することのないその足取りからは、普段の青木さんの行動の活発さがうかがえました。そして、記念講演はとてもエネルギーがバツバツでした。こうした青木さんの明るさや元気が、周囲の人を魅了し、笑顔にするのだと感じました。

その一方で、とてもグルメな青木さん。名古屋コーチンを召し上がるのをとても楽しみにされていました。この日の夜に同行した皆さんで名古屋コーチン鍋に舌鼓を打ったとか。名古屋で一泊された後は、東海や近畿の名所を訪れ、ここでも美味しいものを召し上げられ、たくさん思い出とともにご実家に戻られたそうです。

※写真撮影時のみマスクを外しました



ご来学時には歓迎の拍手でお出迎え



左から、天津視覚障害者日本語訓練学校 傅副校長、キサラ学長、青木氏、李校長、楊氏



上南戦(上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会)が、今年で63回を迎えました。

上南戦とはカトリック修道会を設立母体とする上智大学と南山大学のスポーツ対抗戦で、毎年両校体育会団体が数十種目の競技を行い各競技の勝利数により総合優勝を競います。一年毎に会場を東京、名古屋と移動し行われ、1960年の第1回大会より、半世紀以上続く伝統の一戦です。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により昨年、一昨年と中止となり、3年ぶりの開催となりました。

今年のスローガンは「Revival」。2年連続で中止になってしまった上南戦を復活させ、大学全体を大きく盛り上げていこうという願いが込められています。

上南戦 学生の声



第63回上南戦実行委員長 所属 柔道部 主将

富田大輔 (経済学部経済学科3年)

伝統ある上南戦は、今年で第63回大会となりました。新型コロナウイルスの影響で、3年ぶりの開催となりましたが、無事大会を終えられたことを嬉しく思います。南山大学は、上智大学に大きく負け越しております。そのため、今年こそは必ず勝つという意気込みで、上南戦に挑みました。前哨戦では大きく負け越してしまいましたが、ハンドボール部のオープニングゲームから始まった本戦では、怒涛の追い上げを見せ、最後の団体の結果まで総合優勝の行方が分からない大接戦でした。どの団体も一生懸命プレーしてくれて、見に行った試合はどれも最高に楽しませていただきました。

上南戦を開催するにあたり、辛かったことも多かったのですが、学生課、そして実行委員会のみんなと協力して創り上げた第63回は一生の思い出です。この上南戦に関わって頂いた全ての方に、感謝申し上げます。ありがとうございました。



“戦わない上南戦”をテーマに、上智大学と南山大学の文化系団体を対象とした新たな交流の場「Johnan Meets EXPO 2022」が初めて開催されました。



午前は外部講師を招いて講演会・クイズ大会等を実施し、午後は両大学の類似団体同士の交流を行いました。

総合優勝
上智大学

総合成績 **15勝17敗**
第1回大会からの通算成績
南山17勝 上智39勝 引分5

戦績

総合成績は南山大学15勝、上智大学17勝で、残念ながら総合優勝というリベンジは果たせませんでした。参加した選手たちをはじめ、応援団、教職員など関係者が一つとなり、各会場は大いに盛り上がりを見せました。

弓道(男子)	南山 66 - 86 上智
弓道(女子)	南山 42 - 46 上智
ゴルフ	南山 0 - 6 上智
水泳	南山 190 - 240 上智
ハンドボール	南山 24 - 23 上智
アイスホッケー	南山 1 - 6 上智
硬式野球	南山 10 - 5 上智
ラクロス(男子)	南山 5 - 4 上智
アメリカンフットボール	南山 7 - 18 上智
バレーボール(女子)	南山 0 - 3 上智
バレーボール(男子)	南山 1 - 3 上智
バドミントン(男子)	南山 3 - 2 上智
バドミントン(女子)	南山 3 - 2 上智
バスケットボール(女子)	南山 68 - 64 上智
バスケットボール(男子)	南山 67 - 70 上智
柔道	南山 3 - 0 上智
剣道(男子)	南山 3 (7) - 2(6) 上智
剣道(女子)	南山 2(3) - 2 (3)* 上智
少林寺拳法	オープン戦
軟式庭球(男子)	南山 5 - 3 上智
軟式庭球(女子)	南山 3 - 0 上智
硬式庭球(男子)	南山 2 - 7 上智
陸上競技	南山 112 - 124 上智
洋弓(男子)	南山 3102 - 3106 上智
洋弓(女子)	南山 2665 - 3276 上智
準硬式野球	南山 8 - 3 上智
ラクロス(女子)	南山 16 - 3 上智
サッカー	南山 5 - 0 上智
ラグビー	南山 5 - 45 上智
フェンシング	南山 44 - 41 上智
卓球(男子)	南山 3 - 4 上智
卓球(女子)	南山 3 - 1 上智
硬式庭球(女子)	南山 1 - 2 上智

※代表戦の結果、上智大学の勝利、()内は本数

結団式

6月15日、体育館にて結団式が行われました。上南戦に出場する体育会クラブが参加し、新旧ライオンくんのお披露目も行われました。



覚書調印式

6月18日、上南戦の覚書調印式を南山大学にて執り行いました。覚書には、上南戦で実施される各競技の試合形式や得点の取り決めなどが記載されており、確認後両校代表者により調印を行いました。



祈念ミサ

大会初日の7月1日、神言神学院大聖堂にて祈念ミサを行いました。聖歌が流れ、厳肅な雰囲気の中、心を一つにし、上南戦を開催できることに感謝し、両大学の発展に貢献できるように皆で祈りました。



開会式

祈念ミサに続き行われた開会式では、両学長の挨拶や選手宣誓に始まり、応援団リーダー部のエールとチアリーダー部のアトラクションで一気に盛り上がりま



オープニングゲーム

両学長の始球式のあと、ハンドボール(男子)の試合が行われました。白熱した接戦となり、終了間際に南山大学が得点し、見事勝利をおさめました。



閉会式

7月3日、G30にて閉会式を行いました。上南戦実行委員会委員長 富田さんの競技終了宣言のあと、成績が発表され、各応援団のエール交換も行われました。



解団式

7月6日、G30にて解団式を行いました。学長からは「来年こそは優勝旗と優勝杯を持ち帰りましょう」と激励の言葉が送られ、体育会執行委員会委員長 佐野さんから学長へ校旗が返還されました。



Special Events

2022.6.22

「南山チャレンジプロジェクト」採択通知授与式

6月22日、2022年度「南山チャレンジプロジェクト」の採択通知授与式を行いました。

「南山チャレンジプロジェクト」は、学生による学内に活性化させる企画や地域との交流、国際交流などを推進する取り組みを大学として支援し、学生の成長につながる多様な機会を創出することを目的としています。



授与式の様子

2022年度南山チャレンジプロジェクト[チャレンジ企画型]採択団体



Activate NRL

本団体は、書籍に関する様々なイベントを企画・実施することで、学生がより書籍に親しむとともに、書籍を通じた発見や視野の拡大を体験する機会を創出します。また、学生がこれらのイベントに参加することで、様々な情報ツールの発展に伴い、軽視されがちな「本」の魅力・有用性を再発見することを目標とします。



Healing Lab.

南山大学の学生の環境意識を高めるために活動を行います。プラットフォームに登録されている世界中の建物の環境性能などを相対的に比較して評価するツールであるArcを使い、Q棟を中心に学内の建物を評価し、分析結果から課題に取り組みます。デジタルサイネージによるArcの評価結果の公開も検討予定です。



nanzanチャリティコンサート有志団体

ウクライナとロシア両国の平和を願うためのチャリティコンサートを、複数の合唱団と合同で開催します。各団体それぞれが平和を願う曲を演奏すると共に、全体合同曲としてロシア人の作曲による典礼曲やウクライナの讃歌を演奏することで、両国の平和を願う気持ちを一人でも多くの方に持ってもらえるよう活動します。



南山大学石器研究グループ

南山大学石器研究グループは、岐阜県下呂市湯ヶ峰を主なフィールドとして考古学的な学術調査を実施してきました。その経験を活かし、下呂市特有の新たな観光資源となり得る「下呂石」を解説冊子や実物の設置を通して、現地の人々や観光客の方々へ広める活動を行っています。

2022.7.12

南山ゆかたフェス

7月12日、南山ゆかたフェスを開催しました。浴衣を着ることで、日本文化に親しみ、学生・教職員同士の交流を図ることを目的としています。天候が心配されましたが、無事に開催のはこびとなり、当日は多くの学生・教職員が参加しました。



▲集合写真(当日はテレビ局にも取材にお越しいただきました)

6月25日には、松坂屋とゆかたフェス実行委員会がコラボレーションし、ファッションショーに出演しました。コロナの影響で着る機会が減っている浴衣の文化を盛り上げるため、学生が企画し、学生ならではの斬新なアイデアで浴衣を着こなししていました。

※写真撮影時のみマスクを外しました



▲ファッションショーにモデルとして参加した学生

2022.7.16-7.17, 8.1

オープンキャンパス

今年度のオープンキャンパスは、7月16日、17日にキャンパスへ来場する大学開催型を、8月1日に自宅から参加するオンライン開催型を実施しました。

6月15日から特設ページを開設し、入試概要、留学制度、就職・キャリアサポート、各学部紹介など動画による大学紹介を行いました。

大学開催型では、各学科の教員による模擬授業や学部の学び、入試、奨学金、留学、就職などについての個別相談をはじめ、学科・学生企画やキャンパスツアーを実施しました。

どちらの開催型も盛況で、延べ5,150名の方々にご参加いただきました。



▲キャンパスツアーの様子

2022. 8.1-8.5

夏休み水泳教室

8月1日から8月5日までの5日間、南山大学室内プールでの夏の恒例行事「夏休み水泳教室」を開催しました。

この教室は、小・中学生を対象に本学水泳部の学生が泳ぎ方を教える毎年人気の教室です。新型コロナウイルス感染症対策のため、例年より人数を制限し66名の方にご参加いただきました。6種類のコースから希望コースを選択して泳力別に分けられたグループごとに練習を行い、たくさんの方々が楽しみながら泳ぎの上達を目指しました。



理工学研究科機械電子制御工学専攻の学生が、 2021 IEEE 10th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2021)で IEEE GCCE 2021 Excellent Student Poster Award (On-line) Bronze Prizeを受賞

2021年10月12日～15日に開催された2021 IEEE 10th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2021)で理工学研究科機械電子制御工学専攻博士前期課程2年 梅比良・奥村・藤井研究室所属の中川高輔さんがIEEE GCCE 2021 Excellent Student Poster Award (On-line) Bronze Prizeを受賞しました。

中川さんは「Proto-Type Development of Vibration-Induced Haptic Shoes for Perceiving the Front Obstacle」と題して発表しました。その結果、特に優れたプレゼンテーションを行った発表者と認定され、本賞を授与されました。

受賞した中川高輔さん▶



理工学部電子情報工学科の梅比良正弘教授が、 第72回「電波の日」総務大臣表彰を受賞

梅比良教授は、長年にわたり情報通信審議会において多くの無線システムの技術的条件のとりまとめを主導するとともに、総務省国立研究開発法人審議会会長代理として国立研究開発法人の業務実績の評価に寄与されるなど、電波利用の

高度化と国の研究開発の発展に多大な貢献をしたことが評価され、第72回「電波の日」総務大臣表彰を受賞しました。

6月1日に令和4年度「電波の日・情報通信月間」記念中央式典が挙行されました。



▲記念中央式典の表彰式の様子 (右:梅比良教授)

経営学部の後藤剛史准教授が、 2021年度日本応用経済学会学術論文賞を受賞

経営学部の後藤剛史准教授が、2021年度日本応用経済学会学術論文賞を受賞しました。

この賞は、応用経済学分野において、優れた論文を著したものの(原則、毎年度1件)に対して授与されるものです。

受賞論文

後藤剛史(2021)「不実表示に対する損害賠償の経済分析」
(『応用経済学研究』第15巻所収)



▲授与式の様子(中央:後藤准教授)

体育教育センターの笹川慶准教授が、 WFDF2022世界アルティメットクラブ選手権大会に出場

体育教育センターの笹川慶准教授が、2022年7月23日～7月30日にアメリカで開催されたWFDF (World Flying Disc Federation) 2022世界アルティメットクラブ選手権大会(4

年に1度開催)に日本代表チームの選手として出場しました。最終順位:21位(世界ランク上位国から選出された40チーム中)(アルティメット:12種目あるフライングディスク競技のひとつ)

笹川准教授▶



※撮影時のみマスクを外しました

Special Events Schedule

2022.10.8

野外宗教劇「受難」

10月8日(土)18時からパッセ・スクエアで第56回野外宗教劇「受難」を公演します。

野外宗教劇「受難」はカトリック大学である本学を代表する伝統行事です。聖母マリアの受胎告知から始まり、エルサレム入城、ゴルゴダの丘における十字架上の死、そして復活というイエス・キリストの生涯を、課外活動団体「野外宗教劇」部員が演じます。出演はもちろんのこと、演出、脚本、衣装、メイク、情報宣伝など「受難」に関わるすべてのことを学生たち自身が行います。

※観覧は、コロナ対策として、事前予約制を予定しております。詳細は、野外宗教劇のTwitter・Instagramをご確認ください。



Twitter:
@NANZAN_PPC



Instagram:
@nanzan_passionplayclub



2022.10.29-2022.10.31

大学祭「南山祭」

10月29日(土)から10月31日(月)までの3日間、大学祭「南山祭」を開催します。

今年のテーマは「煌(きらめき)」。このテーマには、「来場されるお客様、出演する団体、大学祭運営委員会にとって、輝かしいイベントになって欲しい」という思いが込められています。

学内団体によるステージ企画や、クラブ・サークルによる活動内容の展示・発表、模擬店などさまざまな企画をご用意しております。

※入場は、コロナ対策として、事前予約制を予定しております。詳細は大学祭Webページをご確認ください。



2022.11.5

受験生と保護者のための 入試説明会

11月5日(土)「受験生と保護者のための入試説明会」を開催します。これは、本学の一般入試、全学統一入試、共通テスト利用入試の受験予定者を対象としたイベントで、当日は入試説明や、個別相談などを実施予定です。また、各企画にオンラインで参加いただくことも可能です。

詳細は大学公式Webページ「受験生の皆様」をご覧ください。
<https://www.nanzan-u.ac.jp/admission/>



※写真は2021年度開催時の様子です

新学生食堂 「SWEETS MAGIC Lab.」が オープンしました

7月18日、C棟1階に新学生食堂「SWEETS MAGIC Lab. (スイーツマジックラボ)」がオープンしました。

「SWEETS MAGIC Lab.」は高級プリン専門店を運営する株式会社スイーツマジックの出店によるもので、学食定番メニューだけでなく、地産地消を意識し、地元食材を使用したメニューも提供しています。

この新学生食堂は、学生をはじめ地域の方など多くの皆様の憩いの場となるよう、従来の学生食堂の枠に取まらない様々な取り組みを計画しています。

オープニングセレモニーでは、ロバート・キサラ学長が、株式会社スイーツマジック取締役 寺西和彦氏、本学学生で株式会社好生館プロジェクト代表取締役 横井優樹氏とともにテープカットを行いました。11時のオープン前にはたくさんの学生が行列を作り、新学食のオープンに心躍らせていました。実際に食事をした学生からは、「セルフサービスのオシャレな雰囲気で嬉しい」「美味しい」などの声が聞こえてきました。

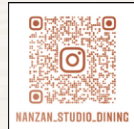
「SWEETS MAGIC Lab.」は、月曜日～土曜日の11時～17時の営業で、どなたでもご利用いただけます。



▲オープニングセレモニーの様子



本学では、「SWEETS MAGIC Lab.」をはじめとした南山大学内の学生食堂を紹介するメディアとして「NANZAN STUDIO DINING」をInstagramで立ち上げました。



キャリア支援課 プログラム紹介

ランチタイムに キャリアサポートプログラムを実施します！

キャリア支援課主催のプログラムは、授業が少ない水曜日の午後や平日の5限以降に開催していますが、部活動やサークル活動等でなかなか参加できない学生の皆さんも参加しやすいように、ランチタイムにもセミナーを実施しています。昼食を食べながらの参加も可能です。授業の合間を活用し、ご自身のキャリアについて考えてみましょう。

〈実施予定のプログラム〉

卒業生に聞いてみよう! (予定)

- ・日時： 9月26日(月) 12:50～13:20 人文学部
- 9月27日(火) 12:50～13:20 総合政策学部
- 9月29日(木) 12:50～13:20 経済学部
- 9月30日(金) 12:50～13:20 経営学部
- 10月 3日(月) 12:50～13:20 法学部
- 10月 4日(火) 12:50～13:20 外国語学部
- 10月 6日(木) 12:50～13:20 理工学部/
理工学研究所
- 10月 7日(金) 12:50～13:20 国際教養学部
- ・対象: 全学年
- ・内容: 入社3年目程度の卒業生をお招きし社会人としての経験・やりがい、学生時代の体験談などを伺います。先輩の卒業学部に関わらず全学部・全学年参加可能です。

※プログラムの申込み方法等詳細は今後PORTAで公開予定です。学生の皆さんは、ぜひ参加してください。

※各種イベントは実施後に1週間程度YouTubeにてオンデマンド配信いたします。(録画配信可能なイベントのみ対象) 詳細はPORTAからご確認ください。

第3クォーター以降のキャリア支援課プログラム紹介

低学年から万全の体制でキャリア形成をサポートしています。学生の皆さんは、ぜひ参加してください。

キャリアサポートプログラム(全学年対象)

9月～10月	テーマ別ワークショップ 「女性の働き方」「グローバル社会での人材」など	ワークを通じて、テーマ毎に必要な能力・資質とは何かを考えます。
--------	--	---------------------------------

就職支援プログラム(2024年3月卒業予定者対象)

9月	第2回就職ガイダンス【文理別】	先輩の体験談、秋学期のスケジュールの確認など
9月～11月	業界・職種研究会【公務機関】	国・地方など各機関の担当の方から業務内容や仕事のやりがい等についてお話を伺います。
10月～12月	就職対策講座【文理別】 「筆記試験対策」「自己理解・自己PR」「志望動機」「業界研究」「面接対策」など	テーマ毎に就職活動に役立つ講座を実施します。
11月～1月	筆記試験対策	SPI3テストセンター対策模試、玉手箱対策模試
11月～1月	業界・職種研究会【文理別】	各業界を代表する企業から講師をお招きし、各業界の現状や今後の方向性等についてお話を伺います。
12月	グループ選考・エントリーシート対策	他大学交流型グループディスカッション対策講座、ES準備ワークショップ
12月	面接対策	面接準備ワークショップ
1月	第3回就職ガイダンス【文理別】	就職活動直前総まとめ講座
3月	学内会社説明会 [2021年度実績: 文系 324社 / 理系 70社]	南山大生を対象とした会社説明会を開催。優良企業が多数参加します。

※その他、リターンガイダンスや外国人留学生ガイダンス、障がいのある学生のためのガイダンスを実施します。
※就職相談は随時受け付けています。

2022年度 学部長表彰

年度ごとに品行方正で学業に優れた成績を修めた学生124名に、その努力を称え、学部長から表彰状を授与しました。

【人文学部】	21名	【法学部】	15名
【外国語学部】	21名	【総合政策学部】	15名
【経済学部】	15名	【理工学部】	13名
【経営学部】	15名	【国際教養学部】	9名

後援会定例評議員会

2022年6月25日(土)、フラッテンホールで、南山大学後援会定例評議員会を開催しました。南山大学後援会は在学生の保護者等によって組織されており、当日は理事・評議員に就任いただいている役員の皆様から80名の方にご出席いただきました。

議事においては、(1)2021年度事業報告および決算報告について、(2)役員を選任について、(3)2022年度事業計画(案)および予算(案)について審議・承認

後援会収支計算書および予算書

(単位:円)

科目	2021年度決算	2022年度予算
収入の部		
前期繰越金	6,118,626	4,326,615
入会金	2,266,000	2,357,000
会費	173,527,500	176,000,000
合計	181,912,126	182,683,615
支出の部		
教育・研究活動等支援援助金	165,000,000	165,000,000
留学生支援活動援助費	(60,000,000)	(63,000,000)
教育研究図書援助費	(70,000,000)	(60,000,000)
履修関係費	(4,300,000)	(6,000,000)
広報活動援助費	(7,000,000)	(7,000,000)
課外活動援助費	(19,800,000)	(25,000,000)
就職指導活動費	(3,900,000)	(4,000,000)
後援会活動費	8,585,511	10,000,000
保護者の集い	(1,292,027)	(2,000,000)
就職活動援助費	(1,200,000)	(1,200,000)
広報費	(5,694,959)	(6,000,000)
事務費	(398,525)	(800,000)
課外活動援助基金積立	4,000,000	4,000,000
予備費	0	400,000
次期繰越金	4,326,615	3,283,615
合計	181,912,126	182,683,615



認され、2022年度は9月24日(土)に第50回「保護者の集い」を大学と共催することが決定されました。

また、本評議員会をもって理事長を退任される森下亜矢様に、キサラ学長から感謝状と記念盾が贈呈されました。新理事長には佐野真哉様が就任されました。



後援会Webページ

<https://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/kouenkai/>

後援会貸借対照表

2022年3月31日現在(単位:円)

借方		貸方	
預金	85,235,282	課外活動援助基金	39,724,604
		事故対策基金	41,184,063
		次期繰越金	4,326,615
合計	85,235,282	合計	85,235,282

《基金内訳》

(単位:円)

課外活動援助基金		事故対策基金	
前期繰越金	35,724,604	前期繰越金	41,184,063
当年度積立金	4,000,000	当年度積立金	0
当年度取崩金	0		
合計	39,724,604	合計	41,184,063

友の会評議員会・総会

2022年7月20日(水)、ホテル名古屋ガーデンパレスで、南山大学友の会評議員会・総会を開催しました。友の会は南山大学をご支援いただいている一般および法人会員によって組織されており、本年7月1日現在の会員数は一般会員167名、法人会員117名となっております。

総会では、(1)2021年度事業報告および決算報告、(2)役員のご改選(案)、(3)2022年度事業計画(案)および予算(案)について審議され、それぞれ承認されました。議事終了後、今年度の友の会給付奨学金を受給する外国人留学生および日本人の派遣留学奨学生も参加させていただき、大原康之会長より奨学生採用通知書が授与されました。



南山大学友の会会員募集中

南山大学の教育・研究活動にご支援いただける一般および法人会員を募集しております。

[年会費]一般会員 1口 10,000円
法人会員 1口 30,000円
※何口でもお申込みいただけます。



友の会Webページ

<https://www.nanzan-u.ac.jp/tomonokai/>

新任教員紹介

2022年9月1日付

●理工学部

講師 藤原 正浩

(専攻分野:計測工学、ヒューマンインタフェース、ハブティクス)

退職

2022年7月8日付

●外国語学部

准教授 伊藤 聡子

2022年8月31日付

●南山宗教学文化研究所・人文学部

助教・研究所編集員 GRAF, Tim

寄附者ご芳名

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

樋谷 恒孝様
後藤 悟様

岡田 暁宜様
鈴木 智子様

株式会社ジュリスティックス様

株式会社はやしや代表取締役副社長 赤羽 一仁様
南山大学同窓会 会長 松岳 大樹様

「新型コロナウイルス対策学生応援募金」へのご協力に感謝いたします。

豊田 剛様

「南山大学創立75周年記念募金」へのご協力に感謝いたします。

立松日出子様
山田和典様

大村博之様
甘利昌彦様

加藤紀子様
磯村英治様

青山幹哉様

匿名ご希望者 2名様

2023年4月、理工学研究科データサイエンス専攻博士前期課程設置

文部科学省に対して理工学研究科新専攻設置の届出を行い、2022年6月23日に届出が受理されました。これにより、2023年4月から理工学研究科はシステム数理専攻博士前期課程の学生募集を停止し、データサイエンス専攻博士前期課程を開設いたします。

本学名誉教授 新井 喜久夫氏のご逝去

本学名誉教授の新井 喜久夫氏(87歳)が、2022年6月28日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

本学外国語学部准教授 伊藤 聡子氏のご逝去

本学外国語学部准教授の伊藤 聡子氏(51歳)が、2022年7月8日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

本学では、学生の活動などをWebページ「南山TODAY」、Instagram、Facebookでも紹介しています。ぜひご覧ください。

南山TODAY



Instagram



Facebook



南山大学

発行 広報・募金課 / 〒466-8673 名古屋市中区山里町18 Phone: 052-832-3113(直通)
E-mail: pr-gaku@nanzan-u.ac.jp <https://www.nanzan-u.ac.jp/>